

## MF シリーズ スライサーソフト比較

MF シリーズの推奨スライサーソフトは「Slic3r 日本語版」です。

しかし、形状によっては「Cura 日本語版」を利用する事で、より綺麗に造形できる場合があります。以下に製品の特徴をまとめました。製品ごとの特徴をご理解いただき、使い分ける事をおすすめします。

### 【MF-1000 シリーズ、MF-500】

3D プリンタ	Slic3r	Cura
MF-1100 / MF-1150	○	◎ ※1
MF-1000 / MF-1050		
MF-500		

### 【MF-2200、MF-2000】

3D プリンタ	使用ヘッド		Slic3r	Cura
MF-2200	シングル	T0(左側)のみ使用	○	◎ ※1
		T1(右側)のみ使用	○	× ※2
MF-2000	ダブルヘッド	2色造形 ※3	○	○
		異材種造形 ※4	◎ ※5	× ※6

◎: 特におススメ、○: おススメ、×: 使用できません

- ※1. 比較的是がし易いサポート材造形が可能です。また上面も隙間なく塗りつぶす事ができます。
- ※2. T1(右側)ヘッドのみを使用した造形ができません。
- ※3. 左右のヘッドで同じ材料を使用する造形。(右 PLA、左 PLA など)
- ※4. 左右のヘッドで異なるフィラメントを使用する造形。(左 PLA(本体造形用)、右 ABS(サポート材造形)など)
- ※5. 左右のヘッドごとに異なるパラメータを設定できるので、材料特性が異なるフィラメントを同時に使用する造形に適しています。
- ※6. 左右のヘッドで同じパラメータが設定されるので、造形中の液ダレや、目詰まりが発生する可能性が高くおすすめできません。